おひさま

発行：社会福祉法人えどがわ
東京都江戸川区松島 1-40-18
発行責任者：田澤　茂

2013年
12月25日
第8号

「たまにはゆっくりしませんか」

社会福祉法人えどがわ
理事長　　田澤　茂
(江戸川区私立幼稚園協会会長)
(東一の江幼稚園園長)

「そんなことを言っても無理ですよ」という声が聞こえてきそうです。

毎朝、子どもを起こして朝ごはんを食べさせ、保育園に送り出すことから忙しい朝の生活が始まっていることは十分理解できます。保育園の先生に聞きますと、朝せわしなく送り出し、仕事を終え、時間ぎりぎりに保育園へ駆け込んでお迎えに来る姿もあるそうです。特にこれからは日が暮れるのが早くなりますので、暗くなりますと焦ったりしますね。毎日本当に忙しい生活を送っていることと思います。

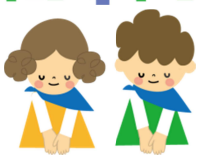
でも、たまにはゆっくりしませんか。お休みのときも普段できない買い物やお掃除、洗濯と目の回るような忙しさかもしれませんが、大人のペースで子どもを生活させるのではなく、たまには子どものペースで生活してみませんか。いつも自動車や自転車に乗せて移動していた道のりを親子でゆっくり公園まで散歩しながら行くとその道々子どもの目線でいろいろな発見があるかもしれません。わが子がトラックやバスがこんなに好きだったのか、道端に咲いている草花に興味を持ったり、夕焼けに感動したり、雲の動きにも関心を持ったり、大人も心を揺さぶられるような新しい発見があるかもしれません。

「ぐずぐずしてなかなか歩かなくて困っています。」という保護者の方がいますが、子どもの興味関心が地面を動くアリだったり、本でしか見たことがない、かっこいい自動車が目の前を走っていたりしても、親が忙しくしていたのではこのようなことを受け入れるのは難しいですよね。

子どもの気持もきちんと受け止めてあげられるように家事も優先順位を作ってテキパキと片付けていきましょう。そして親子でたまにはゆっくりしてください。

おめでとうございます

理事長　田澤茂先生におかれましては、長年にわたり、江戸川区の教育の振興と文化の向上の分野で区政への貢献が称えられ、平成25年度区政功労者表彰を受賞されました。
法人職員一同、お祝い申し上げます。



おひさま交流運動会を行いました

江戸川区主催のさわやか体育祭に向け、全おひさま保育園の 5 歳児がパラバルーンを練習してきました。当日はあいにくの天候で残念ながらさわやか体育祭は中止になってしまいましたが、その代替えとして 11 月 6 日、晴天に恵まれた中、おひさま交流運動会を行いました。

交流運動会には、11 園のおひさま保育園 5 歳児が参加し、大玉送りやかけっこ、綱引き、リレー、パラバルーンを行いました。綱引きでは白熱した試合が続き、子どもたち、職員からも大きな声援が飛び交い、頑張る姿に心を打たれました。パラバルーンは 11 園のパラバルーンが色鮮やかに舞うことができ、1 園では見ることのできない迫力と魅力があり、子ども達の心が 1 つになったように思いました。通常の保育では経験することができない経験ができたことは、成長の中で大切なことだと思います。この交流運動会が子ども達にとっていい思い出になることを願っています。

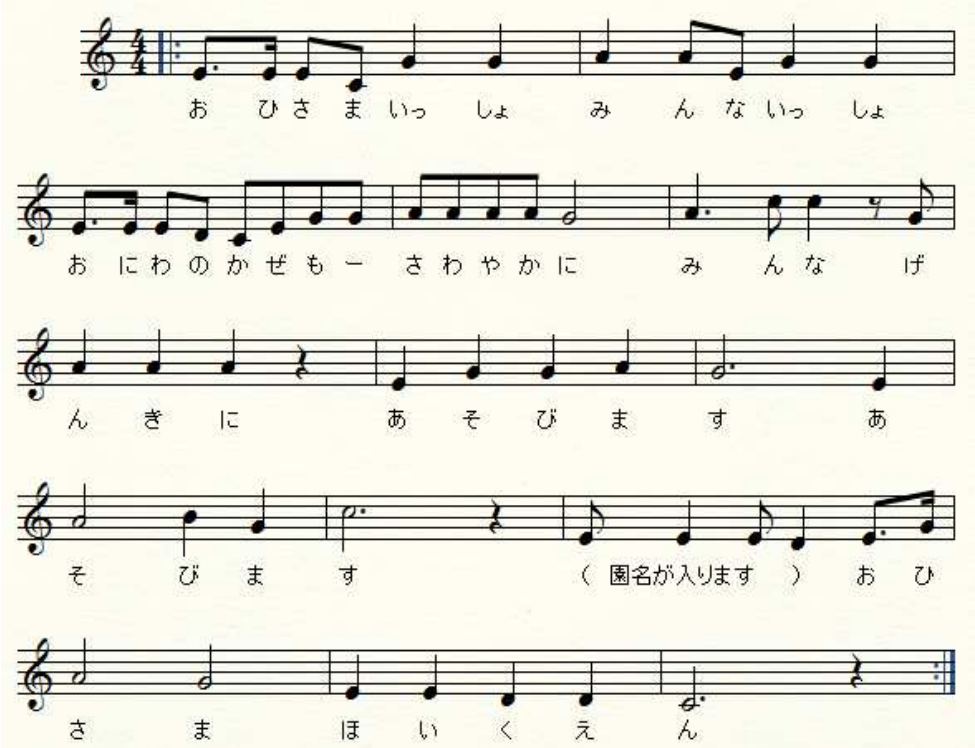
初めての企画を無事終えることができたのは、関係者をはじめ、様々な方々の協力があったからだと思っています。このような機会を作っていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。今回の反省を活かし、来年度も引き続き法人の子ども達のために、おひさま交流運動会を企画したいと思っています。

子ども達が頑張って取組んできたパラバルーンを見ていただくことができ、子ども達も私たち職員も嬉しい気持ちでいっぱいです。お忙しい中、足を運んでいただき、温かい声援を本当にありがとうございました。　西篠崎おひさま保育園　仲　哲矢

園歌を発表します

園歌を発表します。「おひさま保育園らしく可愛く元気なイメージ、子どもたちに親しみやすく、シンボルになる曲」をテーマに中郡利彦様の楽曲に決定しました。末永く歌い継いでいきたいと思います。

おひさまほいくえんのうた　　作詞作曲　中郡　利彦



1. *おひさま　いっしょ　みんな　いっしょ*
   おにわの　かぜも　さわやかに　みんな　げんきに
   あそびます　あそびます　(園名が入ります)おひさまほいくえん
2. *おひさま　あくしゅ　みんな　あくしゅ*
   めとめを　あわせ　しっかりと　みんな　やくそく
   まもります　まもります　(園名が入ります)おひさまほいくえん
3. *おひさま　わらってる　みんな　わらってる*
   あかるい　うたごえ　こだまする　みんな　なかよし
   またあした　またあした　(園名が入ります)おひさまほいくえん

みなさまの声をお寄せください

当法人では保護者の皆様や利用者の皆様の声をお寄せいただきたく、各園のホームページ上に専用ページを作成しました。ご意見・お問い合わせ等にご活用ください。お寄せいただきました内容は、法人より回答させていただきます。

事務局長就任挨拶

社会福祉法人えどがわ
事務局長
榎本　良子

平成 25 年７月１日付けで事務局長に就任いたしました榎本良子です。前職は郵便局長として 21 年間仕事をしてまいりました。まったくの畑違いのようですが、多くの人が集まる場所という意味では、共通点も多いような気がいたします。元気な子どもたちの声を聞き、数か月が過ぎました。お友達と遊ぶ大きな笑い声やお母さんを慕う泣き声など、生きる活力がおひさま保育園には満ち満ちています。現在１５園、約 1,940 名の子どもたちと約 480 名の職員たちが日々格闘中です。平成 26 年４月にはさらに１園が加わり、子どもたちも 2,000 人を超える大家族になる予定です。

社会福祉法人のもつ社会的役割に目を向けた時、何よりも健全な経営を保つ事と良質な保育を第一と考えます。事務局として健全経営に最大限の努力をいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

防災について･･･非常食編･･･

「備えあれば憂いなし」

地震や津波、そして洪水など災害はいつ起こるか分かりません。災害発生時、保護者の皆様には、まず自分の命を守り、安全が確認できましたら保育園へのお迎えをお願いしています。

保育園では、子ども達の命を守ることを最優先し、二次災害を防ぐよう安全に努め、子ども達が生活できる場所を確保していきます。着替えなどの生活用品は各自のタンスやロッカーにストックがある物を使用していきますが、飲料水や食料については、保育園ごとの子ども達全員に朝・昼・夕の３食メニュー(パン・ご飯・汁物・フルーツ缶等)を用意しました。水は１人１日２ℓを目安に２日～３日は十分生活できる量を揃え、全おひさま保育園で入れ替えを行いました。また、懐中電灯やラジオ等の非常用備品について必要量を整備していますが、是非、各ご家庭でも非常用品を整え、万一の時に備えていただきたいと思います。

防災担当園長　山岡　敏夫

おひさまTOPICS

「観劇会」　　鹿骨おひさま保育園

年１回保護者の会主催による観劇会を行っています。今年度も劇団時来組を保育園に招き、子どもたちのよく知っている「おおきなくりのきのしたで」や「おべんとうばこ」の替え歌や手遊び、山口弁の方言遊びを楽しみました。童話の「金のがちょう」をアレンジした劇では、職員が笑わないお姫様役で参加し、子どもたちも大盛り上がり！！笑顔が溢れ楽しいひと時を過ごすことができました。

毎年園児が楽しみにしている行事の１つです。保護者の皆様にはご協力を頂き、ありがとうございました。　　主任　鳥山　奈美

「プール遊び」　　葛西第二おひさま保育園

毎日暑い日が続いた今年の夏。青空の下、元気な声が響き渡ります。子ども達の大好きな水遊びです。登園すると「今日はプールある？」と保育士にたずね、あるとわかると、「ヤッター！」嬉しそうな声があちこちから聞こえてきます。乳児クラスはちょっぴり水にドキドキして泣いてしまうこともありましたが、水遊びを楽しみ、幼児クラスも始めは顔を水につけられなかった子も、後半になると、ビート板を使って泳いだり、フラフープの中を潜ったりと成長していく姿が見られました。

何かができるようになることは子どもにとって自信がつき、笑顔が増えます。子ども達の笑顔は太陽に負けないくらいキラキラしていて、子ども達の笑顔に元気をもらう夏でした。　　主任　向山　良子

おひさまTOPICS

「おじいちゃんとおばあちゃんと遊ぼう会」小松川おひさま保育園

これまでは 1 月に新年子ども会として行っていた熟年者交流会を今年度は敬老の日にちなみ 9 月に開催しました。子ども達の歌や手遊びの発表、職員によるマジックショー。そしてテレビでお馴染みの笑点の音楽に合わせ屏風と毛氈を敷いた手作りの高座に三遊亭わん丈さんが登場！！独特のリズムと落語の語り口調にみんなが引き込まれホールは笑いで溢れました。最後におじいちゃん、おばあちゃんと一緒にじゃんけん列車ゲームをして、子ども達手作りのメガネケースをプレゼントしました。保育目標の中にある「自分に自信を持てる子」として、身近な人との関わりの中から自分は愛されている、大切にされていると感じられる経験になったと思います。　　主任　杉本　奈緒美

「芋掘り遠足」　　北葛西おひさま保育園

台風 26 号が関東地方を直撃したため、芋掘り遠足を予定していましたが、航空博物館に行きました。子ども達は飛行機を見て大変喜んでいました。お弁当は晴天の下、秋の自然の中で食べようと、施設の方の計らいで芋掘りを予定していた施設の広場を借り、食べました。また、急遽芋掘りをできるようにしていただくと、「お芋掘りができる！」と子ども達の歓声が響き渡りました。土の感触を楽しみながら掘ったお芋を持つ子ども達の表情はとても嬉しそうで、帰りの時には誇らしげにお芋の袋をお家の方に渡していました。自然に触れる機会をこれからも続けていきたいと思います。　　園長　山岡　敏夫

法人給食だより

おひさま保育園の給食

「今日の給食なぁ～に？」とおひさま保育園の子供たちは、毎日の給食を楽しみにしています。調理室も「どんな顔で食べてくれるかな・・・」と子ども達一人ひとりの顔を思い浮かべながら調理しています。食べることは人間が人間らしく生活する基礎的な行為です。子ども達が食事を通して心も身体も健康に育つことを願っています。

おひさま保育園での取り組みを紹介いたします。

１．　安全な食材・旬の食材を使って

手作りを心がけ、添加物や加工食品の使用は控えています。
また、市販のカレールーは使用せず、手作りしています。

２．　心のこもった手作りの温かさを

感謝気持ちを育て、心のぬくもりが感じられる食事作りを心がけています。

３．　しっかりした衛生管理

日々の衛生管理を徹底しています。

給食室の人気メニュー

【材料　大人２人、子ども２人分】

・豚小間:100ｇ・茹で大豆:100ｇ・玉葱:中 1/2 個
・人参:1/2 本・じゃがいも:中２個・ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ:1/4 房
・植物油:小 1・塩:少々・水:250ｍｌ・ﾊﾟﾝはお好みで
★ﾄﾏﾄﾋﾟｭｰﾚ:1/3ｶｯﾌﾟ★ﾄﾏﾄｹﾁｬｯﾌﾟ:大 1★ｺﾝｿﾒ:小２★砂糖:小２

【作り方】

①玉葱、人参、じゃがいもは皮をむき、角切りに切る。ﾌﾞﾛｯｺﾘｰは茹でて切っておく。
②鍋に油を入れ、豚小間を炒め、火が通ったら玉葱、人参を入れよく炒める。
③玉葱と人参がしんなりしたら、じゃがいもを入れ少し炒める。
④水を入れ野菜に火が通ったら、茹で大豆と★の調味料を加え、煮込んでいく。
⑤味をみて塩で味を調え、ﾌﾞﾛｯｺﾘｰを入れれば出来上がり。

♪子どもがあまり好まない豆もｹﾁｬｯﾌﾟ味にすることにより、食べやすくなります。
♪野菜も同時にたくさん摂れるのでﾊﾟﾝと一緒に朝食にもおすすめです。

提供：ｼﾀﾞｯｸｽﾌｰﾄﾞｻｰﾋﾞｽ株式会社

リレー随筆

人生には、三つの坂があるのを知っていますか？上り坂、下り坂、そして・・・「まさか」という人生の坂。人生の先輩から教えていただいた言葉です。

ふるさと福島を離れ、上京を決意し、保育士として働いた時代。転勤を繰り返し、静岡や千葉、埼玉と、核家族で子育てした時代。福祉の専門学校での学生との出会い。ヘルパーとして自転車で走りまわった高齢者との介護の出会い。私は、様々な人との出会いの中で、この人生の坂を生きてきました。

まさかの坂は、人生のターニングポイント。今、そのターニングポイントを保育園の園長として過ごしています。人は知らず知らずのうちに、最良の人生を選択しながら生きているとも教えていただきました。私にとって「まさか」の今が人生最良の時です。

子どもたちとの出会いは、成長の喜びや楽しさを体験し、保護者との出会いは、社会で働くことの大変さと子育ての喜びを共感し、職員との出会いは、チームで働く大切さを学び・・・。この出会いが、私を大きく成長させてくれております。

この出会いに感謝し、今日も笑顔とあいさつを大切に、保育園で過ごしていきたいと思います。

春江おひさま保育園
園長　　竹井　千鶴

研修に参加しました

法人主催の男性保育士研修に参加しました。研修では子ども達と過ごす中で何を意識し保育に取り組むべきか、保護者とより良い関係を築くために大切なことは何か、同僚達とどのように切磋琢磨していくかなど男性保育士として何を求められ、何を意識していくことが必要か改めて学ぶことができました。

様々な要求を把握する大切さ、その要求に応える行動力。そして、要求の一歩先を見据えることのできる洞察力。これらの必要性を改めて意識し、一人ひとりが向上していかなくてはならないと感じました。また、女性の多い職場だからこそ色々なことに興味を持ち、保育の現場での細かいところにも気付いていかなくてはいけないとも思いました。

この研修で学んだ事を活かし、洞察力・行動力の向上を図ると共に、法人えどがわの男性保育士として様々な事に興味を持ち、邁進して行きたいと思います。

東小松川おひさま保育園　副主任　藤森　孝

編集後記

早いもので平成25年も残りわずかとなりました。今年も法人運営にご理解、ご協力をいただきまして、ありがとうございました。来年も子どもたちの笑顔のために職員一同精進してまいりますので、よろしくお願いいたします。　編集委員